

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

× 仲良くすれば仕事はかどると思うのは誤解だ！

「全社員まじめ。朝早くから夜遅くまで仕事をしている。しかし業績が上がらない。社内にしらせ鳥が飛んでいる。」

と、業績が上がらない会社を皮肉っている言葉がある。大体において業績の悪い会社はこの傾向がある。真面目で長時間労働ならば業績が上がって当然なのだが、どこに問題があるのだろうか？

※ 仲がよいことは良いことか？

「仲良しクラブ」の会社がある。社員が仲良しなのだ。それ自体はいいことなのだが、利益が上がらなければ会社である以上、間違った風土と言わざるをえない。

問題は発生しても

- ・ 仕方がないよ…
- ・ 適当にうまく処理しておけばいいよ…
- ・ 起こってしまったことは仕方がないよ…
- ・ 誰が悪いのでもないよ。そういう会社だから… などとかばい合うだけ。上司や同僚や部下、あるいは、他部門にいらぬこと言って恨まれたくない。そんな気持ちが根底にある。お客様は蚊帳の外だ。だから、会社の力が上がらず、長時間働いても利益が出ないのだ。利益を上げる知恵は、お互いをかばい合う仲良しクラブからは生まれません。仕事はそんなに甘くない。利益を上げる知恵は、メンバーの考えをぶつけ合うところから出てくる。あなたはそれを避けて通っていないだろうか？

※ 風通しの良い会社をつくる

何が欠けているのだろうか？ひと言で言えば、社員一人一人の緊張感が欠けている。締りが無い。仲良しクラブの一員でいることが楽だと思込んでいることだ。こんな会社は、会議になると社長や部長が声を張り上げ、その他は嵐が過ぎるのを待っている、そんなことが多々ある。マナー化し、仲良しクラブになっている会社。短期的には楽だが長く続かない。会社がなくなったらあなたはどうするのだろうか？やはり会社がなくなったらあなたはどうするのだろうか？やはり会社は全社員のつくりだす仕事の姿勢で決まるのである。

1) 業績が上がらない会社を皮肉っている言葉は？

()

2) 利益を上げる知恵は、メンバーの何をぶつけ合うと出てきますか？ ()

3) カッコを埋めてください。

会社は () のつくりだす () で決まるのである。